

句読点は「,」,「.」とする。「、」,「。」は使用しない。アブストラクトなど英文表記の部分については、スペルチェックプログラムによるチェックをする。

4 提案する理論

4.1 数式

数式による記述が必要な場合は、式番号を適切に参照しながらまとめること。

4.2 図・写真

読者の理解を助けるため、図や表を効果的に利用すること。図のキャプションは

図1 ○○○○

のように、図の下に記す。表のキャプションは

表1 ○○○○

のように、表の上に記す。

5 実験と評価

6 考察

7 結言

参考文献

- [1] ○○△△, システム情報科学会論文誌, 2, 13-19, 2002.
- [2] A.B.Cdddddd, J. Systems Information Science, 11, 1145-1159, 2001.
- [3] ○○××, □□△△, システム情報科学, ☆☆出版, 1999, 20-21.
- [4] E.Fggg and H.Ijjj, Electrical Engineering, KKPress, 2003, 281-284.